

スーパージョイントカップ参加各艇・チームの皆様

第32回の大会にご参加いただき、ありがとうございました。



今年は、HPRクラスの4艇も加わっていただき、24艇での開催となりました。

運営クラブとしては、参加艇間での帆走性能に大きな差を感じましたので、スタートを2組に分けて安全にも配慮して準備を進めてきましたが、肝心のスタート時刻には、神戸海洋気象台が発令している強風波浪注意報は何処へやらの超微風のレースとなってしまいました。

本大会は11月の開催となっており、海況的には厳しい状況が予想され、過去の大会でも強風や大雨、濃霧に見舞われており、今年のような静かな海況は久しぶりの経験となりました。

我慢の大会となったレースは、朝一番にスタート海面に雄姿を見せられた「SWIG」艇が見事なスタートを切られて、艇団をリードされたままファーストホームとなりました。このままであればカップは同艇に贈ることになると見ていると、スタートして2時間を経過する頃から、風が少しずつ上がりはじめ、艇団の中段で耐えておられた中小型艇団を後押しする様相となってきました。

少しずつ強くなる西風が、軽量艇に大きく寄与して「A&A」「NATSUKO」「CLARIS FORTE」「AMANDA」の各艇がHPR軍団に続いてフィニッシュラインを横切られ、修正後では「AMANDA」が優勝カップを獲得されることとなりました。おめでとうございます。

ただ、残念なことに、風の吹き出しが余りに遅く、帆走指示書に基づくタイムリミットまでにフィニッシュされた艇は8艇にとどまり、残り16艇はDNFとして記録することとなりました。この結果を次回への反省として、更に良い運営への糧とさせていただきます。ご了承ください。

私見ながら、参加艇とその成績を見ていますと、艇種や大きさに違いはあれど、レース結果には整備と練習が如実に表れてくると感じました。この大会は両クラブの対抗戦です、北港側はもっと努力が必要でしょう。

最後になりますが、今大会の開催に際してご支援、ご協力をいただきました一般社団法人関西ヨットクラブ様、大阪北港マリーナ様には、改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

本大会にご参加いただいた艇・チームの皆様とは、又来年も一緒にレースを楽しめることを願っております。

レースの表彰艇

優勝	AMANDA 艇
第2位	CLARIS FORTE 艇
第3位	NATSUKO 艇

表彰艇の皆様、おめでとうございます。

2023年11月14日
大阪北港ヨットクラブ
会 長 森村圭一朗
実行委員長 宇都宮則夫